

# 明日に向かつて

## ともに創る

86

大船渡市長 戸田公明

### 三期目にあたり考えられていること

三期目の始まりにあたり、昨年12月5日号では「2期8年間の市政・市勢の進展」、本年1月8日号では「吉浜のスネカがユネスコ無形文化遺産に登録されました」、2月5日号と3月5日号では「市職員の収賄容疑逮捕を受けて」について掲載しました。今回は三期目の市政を担う私の基本的な考えを述べたく存じます。

#### 市政目標として

- ・復興の総仕上げを行い、人口減少・高齢化に対応する地域力の向上を図る
- ・多様な地域課題の克服に挑戦し、地域産業を活性化し市民所得の向上と少子化の歯止めを全力を尽くす

この目標のもと、復興の総仕上げ、持続するまちづくり、次世代育成支援、教育、保健・医療・介護・福祉、商工業、港湾観光ビジョン、水産業、農業、林業の11項目の目標とともに30の具体的な施策を掲げました。

これは、皆様もご存じの通り、選挙公報に掲載させていただきましたが、しっかりと取り組んでまいります。

市政目標の根本は、高齢化・人口減少時代にあつて、今の経済的な豊かさや市民福祉を維持・向上させていくには、地域力の向上と市民所得の向上が不可欠だということです。

地域力については、地区の活動にできるだけ多くの市民の皆様が参加しやすい新たな仕組みを、地区関係者の皆様と共に考え創造し、高齢化の進行に伴い必要とされる多様な助け合い活動が広まり定着していくことを支援してまいります。これは一般的には「地区運営組織」と呼ばれていますが、各地区における組織形成を支援していくものです。

市民所得についてですが、所得水準が今のままで推移した場合、所得を得る生産年齢人口が減少していきまますので、社会は少しずつ貧しくなります。

そうならないよう、市民所得を向上し続けるためのさまざまな取り組みを今後とも継続してまいります。

- ・魚市場水揚げ高を中長期的に増やし水産業振興を図ります（国の水産資源管理を注視）。

・魚介類・農産物などの6次産業化を支援継続します（市内でできるだけ付加価値を付ける）。

- ・企業誘致を継続します（トマト・イチゴ栽培施設、太陽光発電、ILC関連事業所など）。

・起業・第二創業支援などを継続します。

- ・産業人材育成支援を継続します。
- ・進んだ科学技術を市役所業務に取り入れます。

（マイナンバーカードによる各種証明書のコンビニ交付を導入します）

【RPA（業務の自動化）、OCR（光学的文字認識）、AIなどの導入により、事務効率の向上を目指します】

今後、今まで以上にこれらを意識しながら、市民の皆様との協働を重ね、まちづくりに邁進してまいりますので、ご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

## 本年も開催決定！大船渡の観光シーズンの幕開けを告げる 大船渡 碁石海岸観光まつり

- ▷日時＝5月4日(土・祝)午前9時30分～午後3時  
5月5日(日・祝)午前10時～午後3時
- ▷会場＝碁石海岸レストハウス前大型車駐車場ほか



「大船渡 碁石海岸観光まつり」が5月4日(土)・5日(日)の両日、開催されます。

今回も、地域の郷土芸能などのステージイベントや、炭火焼きほたてや大船渡市漁協末崎支所女性部による「碁石海鮮鍋」などのグルメコーナー、新規イベントの「ふれあいミニ移動動物園」などたくさんのイベントが行われます。

両日は「世界の椿館・碁石」と「市立博物館」に無料で入館できますので、碁石海岸観光まつりと併せて、ぜひお楽しみください。

イベント内容などの詳細は、広報大船渡4月22日号(No.1149)でお知らせします。

▷問い合わせ先＝碁石海岸観光まつり実行委員会事務局【観光推進室(☎内線114・115)】

